

まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークへの再構築に向けた推進拠点として、交通局にSAGAモビリティセンター（仮称）を整備する。

1. 現状・課題

- ◆ 佐賀市の地域公共交通の要である路線バスは、運転士不足、運転士の高齢化、物価高騰等により運送事業の継続に大きな影響が生じている。また、人口減少や少子高齢化の進展等の社会変化を見据えた各種課題の解決に対応していく必要がある。
- ◆ SAGAアリーナの開業やインバウンドの回復等により交流人口が増加しており、その賑わいを広げ、経済効果を高めていくためには、観光客等の回遊性の更なる向上が必要である。

2. 利便増進計画における方針 （佐賀市地域公共交通利便増進実施計画 P.30）

市中心部における方針

回遊性の向上を支えるモビリティサービスを充実させる

路線の延伸

- 路線バスの回送区間の営業化
- まちなかオンデマンド交通の導入
- シェアリングサービスの民間活力の活用によるモビリティハブの整備
- タクシー、ライドシェア、観光バス等の待機スペースの確保

市全域における方針

持続可能な公共交通ネットワークを構築する

乗り継ぎ利便性の向上に向けた事業者間乗継割引の適用

- 路線バスの回送区間の営業化
- EV給電施設の公民共同利用
- 公民連携による運転士確保・研修機能の整備
- 公民連携による自動運転研修機能の整備
- 公民連携による公共交通に関する学習機能の整備

短期

中長期

具現化

SAGAモビリティセンター（仮称）の整備

3. SAGAモビリティセンター（仮称）イメージ

SAGAモビリティセンター

（仮称）



4. 事業スケジュール（予定）

R7	基本設計、実施設計、地質調査、家屋調査
R8～9	工事（新施設整備、旧局舎解体、外構）等
R10	供用開始（予定）

※ 令和7年度の事業は、令和7年度補正予算の議決が前提
※ 財源は、国の社会資本整備総合交付金（地域公共交通再構築事業）を活用